

IT革命の動向

社会・経済の変化とシステム設計の問題

平成15年6月24日

(株)ジェイアール東日本情報システム

代表取締役社長 結城淳一

ITの動向

ITの経済活動に対する影響

社会の変化について

ITガバナンスについて

ソリューションの基本的な方向

企業を越えるソリューション

技術動向の要点

システム設計の問題

ITの経済活動に対する影響

1. IT産業の発展

- ・ 新技術、新しいハードウェア
- ・ 規模、生産技術の発展
- ・ マーケットの拡大

2. 情報の利便性による一般産業の発展

- ・ 情報の利便性による経済活動の活性化、効率化
- ・ 個人に対する地域格差のない情報の充実による個人消費の増大、変化
- ・ 新しい情報産業 ネットビジネス
- ・ 品質・機能向上、価格ダウンによるマーケット拡大

3. 情報の効率化による企業変化

- ・ 情報処理部門、流通・資材・経理部門などの事務処理部門の合理化
- ・ 企業、グループ企業の統廃合
- ・ 統一システムによる共通的な処理専門会社 アウトソーシング

4. ビジネスの主役の変化

- ・ コアコンピタンスと情報交換システム(販売チャネル)の分離
- ・ 金融、商社などの情報処理専門会社の役割変化と統廃合
- ・ 流通革命

5. 情報処理のグローバルスタンダード化

- ・ 企業(グループ)を越える情報処理
- ・ 統一(共通)システムによる情報交換

社会の変化について

1. 社会全体の最適化

- ・ 経済、政治、行政、生活などあらゆる分野
- ・ 効用の最大化
- ・ 限りのない合理性の追求
- ・ 集中化される頭脳集団

2. 最適化が行われる領域

- ・ 情報伝達の範囲と時間 ITによってグローバルと短時間に変化
- ・ 政治・行政と経済の分離

3. 最適化のプロセス

- ・ ブームとバブル崩壊
- ・ 構造改革 旧体制の崩壊 価値喪失、デフレ、不況
- ・ 新しい価値創造と経済発展

4. 企業、組織の存在意義の変化

- ・ コンポーネント化
- ・ コアコンピタンス重視
- ・ 最適化進展の先取り

ITガバナンスについて

1. ITをガバナンスする企業の能力

- ・ システムの企画・建設
- ・ システムの運営・更新
- ・ セキュリティ

2. コーポレートガバナンスにおけるITの位置づけ

- ・ 業務におけるITの利用度
- ・ 情報のオープン性とセキュリティ
- ・ 社外システムとの結合(インターネット等の利用)
- ・ 外部IT戦略の脅威

3. アウトソーシング

- ・ 自社の管理項目とスキル
- ・ コスト管理
- ・ セキュリティ



ソリューションの基本的な方向

1 選択と集中

企業の統廃合

グループ経営

共通処理、アウトソーシング

2 効率主義とコストダウン

組織の簡素化と人員削減

ソーシングの見直し

事務処理業務の徹底見直し

3 構造変化とリーダーシップ

環境変化の先取り

リーダーシップを発揮できる分野の見極め

構造変化への対応システム



企業を越えるソリューション

1 アウトソーシング

あらゆる部門が対象

資本グループ、系列からの脱却

企業の存在の希薄化

2 企業の情報産業化

PC生産業界

スーパーマーケット業界

3 経営システムの共通化

インターネットシステム

オフィスシステム

BTOBシステム

ERPシステム

SCMからソーシングの共通化へ

4 企業を越えるアプリケーション

電子マネー (ICカードSuicaの例)

データベースシステムの共通使用

新しい技術によるシステムのシームレス化

・XML、SOAP



技術動向の要点

1. ハードウェア

まだまだ続く技術革新 CPU、ストレージ

多様化するWindowsサーバー

マーケットの拡大

システムチェンジとハードウェアの更新

2 ソフトウェア

オペレーティングシステムの固定化 Unix, Windows, Linux

データベースシステムの固定化

オラクル、SQLサーバー,etc.

プロトコル(言語)の固定化 TCP/IP, HTML, XML ,etc.

アプリケーションソフトの固定化 マイクロソフトオフィス,etc.

ERPソフトウェア SAP、オラクル、ピープルソフト,etc.

ネットワークアプリケーションソフトの寡占化

アリバ、コマースワン.etc

個別業界対応アプリケーションの共通化と寡占化

3. ネットワーク

技術変化

製品の低価格化

通信会社の激変

効率的なネットワークの保有

4 システムデザイン

高性能サーバーの採用

ハードウェアの統合 サーバー、ストレージ

アーキテクチャの統合、オープン化

データセンタへの収容

5 トータルサービス

ASP化

受注産業からサービス提供産業へのシフト

ディベロップメント中心からシステム運営中心へのシフト

社会的責任の担い手としての役割

6 当社の最新技術

WindowsXP Windowsサーバー2003に関する
Microsoft社とのJDP契約

Windows2000, WindowsXP プラットフォームの採用による開発

.NET Framework, MSIL (MicroSoft Immediate Language)

XML (Extensible Markup Language) Web Service

Windowsサーバー2003の試行とSOAP (Simple Object Access Protocol) 技術の採用によるシステム開発

Windows DNAアーキテクチャ (Distributed InterNet Applications Architecture)による開発

Visual Studio .NET (開発ツール) による開発

Exchangeサーバーに関するMicrosoft社とのJDP契約



システム設計の問題

1 システムインテグレータの問題

システムの品質向上

システムの信頼性向上

- ・ 安定した運営
- ・ 運営を考慮した設計
- ・ 確実、スピーディーなトラブルシューティング
- ・ 運営経費のコストダウン

システム全体の開発コストダウン

ソフトウェア開発の生産性向上

運営経費のコストダウン

2 会社経営の要点

ハード、基本ソフトとから独立したインテグレーション業務の生産性向上を重視する経営

保守的なアプローチの排除

進歩する技術変化への組織的対応

(ベンダー依存からの脱却)

会社としての他社製品(ハード・ソフト)の評価システムの確立

技術問題の会社レベルでの把握

ユーザーの問題解決重視の取り組み

(ユーザーに対する曖昧な遠慮の排除)

3 活動の基本的スタンス

顧客志向

- ・顧客のコアコンピタンス重視
- 技術と生産性向上
- ・最新技術とグローバルスタンダード
- ・標準アーキテクチャ
- ・工程管理、予算管理、プロジェクト管理
- ・技術委員会とナレッジマネジメントシステムの構築
- ・若い社員の育成と登用 キャリアパスの明確化
- ・社員教育の充実 企業人教育・技術教育(教育施設)
- ・他社との協調

3 活動の基本的スタンス

システムの信頼性

- ・ 指令体制 365日24時間
- ・ デジタルナードバスシステム
- ・ クレーム処理
- ・ 数値目標管理
- ・ ISO9000体制

コンサルティング力の向上

- ・ 幅広い分野へのチャレンジ
- ・ 営業担当の技術力向上

3 活動の基本的スタンス

基盤整備

- ・ データセンター整備
- ・ ネットワーク整備強化

4 当面の重要課題

ハードウェアの進歩

- ・ CPU
- ・ ストレージ

オペレーティングシステム

- ・ Windows .NET
- ・ Linux

データベース

- ・ オラクル
- ・ マイクロソフト

4 当面の重要課題

インターネット、ウェブサービス

- ・ XML 等

開発言語

- ・ ソフトウェア資産問題(特にCOBOL)
- ・ 開発ツール

4 当面の重要課題

アプリケーションソフト

- ・ 共通利用、コンポーネント化
- ・ 開発期間短縮
- ・ コストダウン
- ・ ナレッジマネジメントシステムの構築
- ・ 他社との協調

システムの統合設計

- ・ ハードウェア、ネットワーク共通利用
- ・ アーキテクチャの統一

5 COBOLについて

ダウンサイジング問題

- ・ メインフレームからWindows
- ・ UNIXからWindows

COBOLソースの利用

- ・ マイグレーション
- ・ Windows OSでの有効化

IT革命の動向

社会・経済の変化とシステム設計の問題

平成15年6月24日

(株)ジェイアール東日本情報システム

代表取締役社長 結城淳一